

令和5年7月4日  
令和5年度 第1回長野市総合教育会議  
資料1

# 教育支援センター

# 「SaSaLAND」の開設について



# 令和6年4月開所

長野市教育委員会 学校教育課



## 子どもたちのために子どもたちと作る居場所の創設

### コンセプト **子どもたちが安心を実感できる居場所**

- ・自分らしくいられる → 自己決定、自己実現を応援する場所
- ・自分を受け入れてもらえる → 自分を理解してくれる大人に見守られる場所  
話を聞いてくれる大人がいる場所
- ・自分のペースで学べる → 「何もしない」でもOKな場所  
メタバース内で自宅からでも通える場所
- ・保護者の気持ちや和らぐ → 心理や福祉等の専門家に相談できる場所  
保護者同士が繋がり、話し合える場所
- ・大人が理解を深められる → 保護者、教職員、地域住民が学べる場所

**対象者** 長野市内の不登校もしくは不登校傾向にある小・中学生

※中学卒業後、18歳までの若者や近隣市町村の児童生徒の受け入れを検討



## 柱① 子どもたちの社会的自立に向けた支援

### 地域との交流活動

- ・子どもが地域へ出向き交流する活動
- ・地域の方がSaSaLANDにお越しになって交流する活動
- ・飼育、栽培、制作活動に地域の方が参加

### 近隣校等との交流

- ・七二会小学校や長野西高校中条校との交流推進

### 自然体験活動の充実

- ・七二会地区の自然にふれながら、体験活動を実施
- ・キャンプ等の非日常の体験

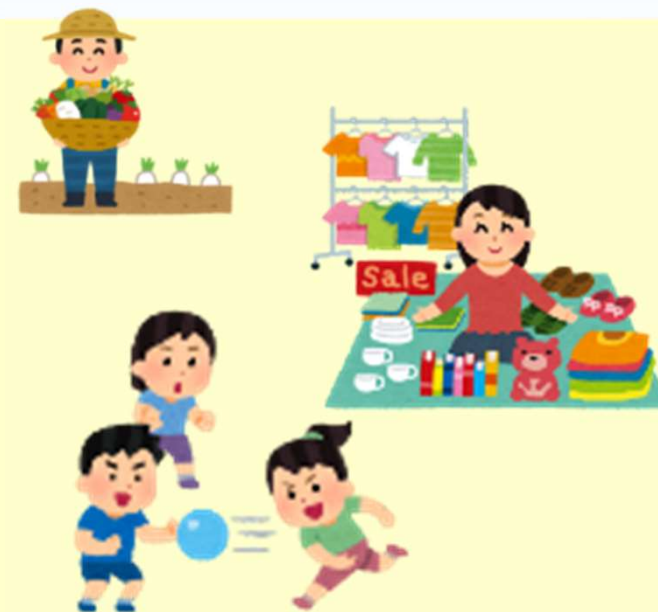
### メタバースを活用したオンライン活動

- ・マイクラフトを使用して活動する

### キャリア教育の充実

- ・民間団体と連携し、職業体験など実施

### 給食の提供





## 柱② 保護者への支援

**目的：不登校の子どもを持つ親の孤独感の軽減  
子ども支援に有効な知識・技能の獲得**

- ①親同士の語り場の開設(お茶を飲みながら気軽に参加できる場)  
対象者 通所している児童生徒保護者  
その他の不登校児童生徒保護者
- ②不登校児童生徒保護者へ定期的な情報提供
- ③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の  
専門家による個別面談
- ④オンラインによる相談窓口を開設
- ⑤「子ども総合支援センター」との連携
- ⑥給食の提供（再掲）





## 柱③ 教職員等の不登校に係わる研修

**目的：子ども支援に有効な心理や福祉の知識と技能の獲得  
教職員の抱え込みや孤立の防止、孤独感の軽減**

**対象：SaSaLANDスタッフ・市内学校教職員等**

- ① 教育センター研修講座の開催 【児童生徒理解、特別支援教育】
- ② 学校教育課研修講座の開催 【登校支援関係】
- ③ SaSaLANDでの実地研修 【施設見学&活動参加型】
- ④ 初級講座・中級講座・上級講座などステップアップ式研修の実施  
※信州大学と共同開催

例) 〔初級講座〕

子どもの心理支援の基礎となる部分（不登校、特支）

〔中級講座〕

子どもや保護者が抱える具体的な課題についての理解と対応

〔上級講座〕

事例検討・心理検査の見方など





# 信州大学との連携

対象者ごとに様々な取り組みを実施

## 児童生徒

- ・ 様々な教育的活動の提案  
例：自然体験活動（夏キャンプなど）  
メタバースを活用したオンライン活動
- ・ 学生の派遣



**社会的自立を  
促進**



## 保護者

- ・ 親の会のアドバイザー
- ・ 保護者向け講演会



**保護者の不安や  
孤立感の解消**



## 指導員・教職員

- ・ 支援、指導に係る助言
- ・ 教職員向けの研修会



**資質の向上**





## SaSaサポーターミーティング(運営協議会)

活動にあたり、子どもたちの意見を反映しながら提案していただく組織

### 構成メンバー12名

所属団体	備考
ブルースカイ	親の会
七二会地区住民自治協議会	3名
信州大学教育学部	心理専門
信州大学教育学部	特別支援教育専門
信州大学教育学部	ICT (メタバース)
信州大学教育学部	野外教育専門
NPO法人 ながのこどもの城いきいき プロジェクト	民間団体
七二会小学校	教育
こども総合支援センター	相談
七二会支所	地元行政

### 第1回 令和5年4月26日 教育委員会室

- 活動内容と人員体制について
- 地域との連携について
- 工事内容について
- 子ども・保護者の意見や要望の反映について

#### 【意見】

- ・子どもたちは、活動が面白いと感じたら積極的になる。
- ・送迎が一番難しい。子どもは朝起きるのが厳しい子や、途中で帰りたい子がいる。

### 第2回 令和5年6月2日 旧笹平分校

- 現地視察(工事内容含む)
- 現地見学会について
- 予算について

#### 【意見】

- ・子どもが主役となる活動をしてほしい
- ・親が安心できる施設に
- ・子ども、親の不安感を聞いてもらえたら
- ・授業やテストを受けられるように
- ・SCやSSWと相談できる
- ・朝苦手の子どもの対応

オブザーバーとして  
親の会他3名参加

## SaSaLAND活動方針

### 日課の詳細は子どもが自ら選び、自ら決める

- ※昼食・掃除・ふりかえりの時間は設定
- ※多様な活動が選択できるように提案
- ※イベントについても選択肢を用意し、子どもが自ら決める



### 選択活動

自己選択・自己決定による活動  
⇒自分のペースで自分らしく過ごす  
自ら課題を立て、情報を集めて整理し、表現する活動  
(イベント準備、地域交流、飼育栽培、制作販売など)  
⇒自分の生き方を考えていく「資質・能力」を育成



### 一斉活動

短時間でも全員で同じ活動に取り組む  
(食事、清掃、運動、振り返りなど)  
⇒他者と係わる機会が増える  
協働的な活動により所属感・一体感の向上





## SaSaLAND活動の内容



### 多様な活動の選択肢（例）

探究活動（野外活動、制作活動等）

何もしない、メタバース

読書、イラスト、絵画、プログラミング

楽器演奏（ピアノ・ギター・太鼓・ハンドベル等）、音楽鑑賞、ビデオ鑑賞

運動、ラジオ体操、ヨガ

教科学習（ミライシード、すらら等のドリル学習、NHK動画、オンライン授業）

サークル活動（同じ趣味の子たちと活動）



### 1日のスケジュール（案）

時刻			内容
9:00	～	9:15	開室・ウォームアップ
9:15	～	12:15	活動
12:15	～	13:15	給食
13:15	～	14:30	活動
14:30	～	14:45	掃除
14:45	～	14:55	クールダウン
15:00			閉室

活動を行う上で  
スタッフ体制  
10名程度必要

## 当事者等からの意見聴取①

- 令和5年2月ながの育ちと学びの場フォーラム
- 令和5年3月教育支援センターの通所生及び保護者

### 施設整備に係ること

- ・子供がひとりで過ごせる部屋の確保をお願いしたい
- ・静かな場所がほしい ・本や漫画がほしい
- ・集団が苦手でも参加できる居場所があると嬉しい

反映予定

### 活動に係ること

- ・自分らしくいれる場所 ・安心して行ける場所 ・みずでっぼうしたい
- ・ボードゲームやカードゲームができる ・英会話がしたい ・調理実習をしたい
- ・卓球がしたい ・虫さがしをいっぱいやりたい ・動物を飼いたい
- ・音にびんかんだから、楽器はおいたりしないでほしい(聞こえないようにしてほしい)

反映予定

### 通う子どもや支援するスタッフに係ること

- ・性別年齢関係なく気軽に話せる人がいるところ ・無理強いしないところ
- ・勉強を教える人がいるところ ・何かを誘ってくれる環境がある
- ・いつだってせんせいにこれちがうっていわれたくない
- ・ほめなくていい だめって言わないで 興味はもってほしい 一緒に楽しんでほしい

スタッフ対象  
研修会にて  
周知し、対応

### みなさんのアイデア、ご意見募集中！

子どもの居場所について、たくさんの「こんなところだったらいいな」を参考にしながら、今後の居場所づくりに活かしていきます。  
子どもの居場所に願うこと（人・モノ・環境・活動など）をどんなことでも自由に付箋に書いて貼ってください。



## 当事者等からの意見聴取②

### 教育支援センター校外学習

令和5年6月23日(金) 会場: SaSaLAND

参加者 教育支援センター 通所生 23名 保護者 9名



### SaSaLANDの感想

- ・景色がいい
- ・空気がきれい
- ・自然が豊かで気持ち良い
- ・和室がいい
- ・光がたくさん入ってくる階段がステキ
- ・窓が多いのがよい
- ・階段がちょっと怖い
- など

### SaSaLANDに望む環境

- ・常時話し相手がいる
- ・好きな事をのぼせる
- ・快適に過ごせる
- ・疲れた時に休める
- ・のびのびと過ごせる
- ・明るく元気に楽しくいられる
- ・もっと自分の意見がたくさん言えるところ
- ・一人になれる場所がほしい
- ・個人のスペースがほしい
- ・虫がいないところがよい
- など





## メタバースを活用したオンライン活動

### 自宅に居ながらオンラインで通える居場所

ものづくりゲームのMinecraft（通称マイクラ）の世界に交流できる場を整備



様々な事情により学校や教育支援センター、  
フリースクール等に通えない児童生徒

#### メタバースSaSaLAND



他者との交流



笹平分校を再現



様々な活動

自宅からの外出（登校や通所）



生活リズムの改善  
やる気・活力の蓄積  
意欲の向上

個別相談対応（不安の軽減）



# メタバースを活用したオンライン活動

## メタバースSaSaLAND概要

1. メタバース 信州大学教育学部三和准教授と学生が作成  
使用ソフトは**Minecraft教育版**



信州大学教育学部三和研究室提供 愛媛大学の実践より

2. 使用端末 ノートパソコンやタブレット（1人1台端末）
3. 実施期間 令和6年4月運用開始 平日9時から12時を想定
4. 活動内容
- ・ 様々な建築（マイホーム、動物園、有名な建造物など）
  - ・ 遊び（鬼ごっこ、かくれんぼなど）
  - ・ イベント（建築コンテスト）
  - ・ 教育版プログラム（プログラミング、科学実験、歴史上の建造物見学など）
5. 相談対応
- ・ 個別の相談希望はSaSaLANDスタッフと連携して対応

### Minecraftのメリット

- ・ 世界一売れたゲーム
- ・ 今でも子どもに大人気
- 興味を引きやすい

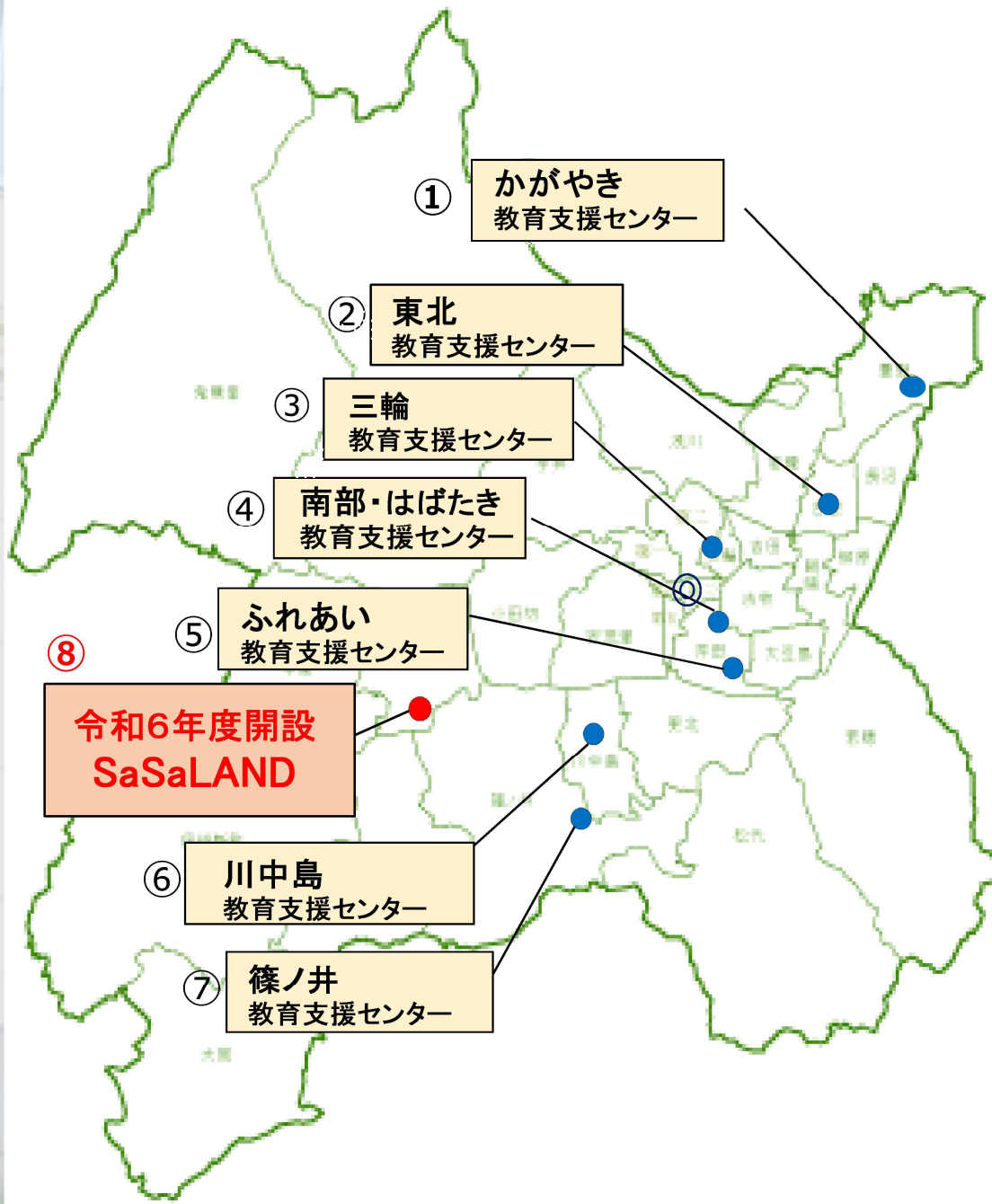
### Minecraft教育版のメリット

- ・ 導入のしやすさ（既存端末で負担なし）
- ・ 外部の侵入がなく安心
- ・ 通常版にはない様々なプログラム





# 令和6年度 教育支援センター体制一覽



番号	教育支援センター名	場所	備考 定員/日
①	かがやき R5再開	豊野支所	約10名/日
②	東北	古里支所	約10名/日
③	三輪	三輪小 北	約10名/日
④	南部	市教育センター 別館2階	約10名/日
④'	別室はばたき R5新設	別館1階	約10名/日
⑤	ふれあい	犀陵中 西	約10名/日
⑥	川中島	川中島小 西	約10名/日
⑦	篠ノ井	篠ノ井病院 北	約10名/日
⑧	SaSaLAND	元七二会小分校	R6開設 約50名/日

1日あたりの受入れ人数

**R4: 60人 → R6: 130人**